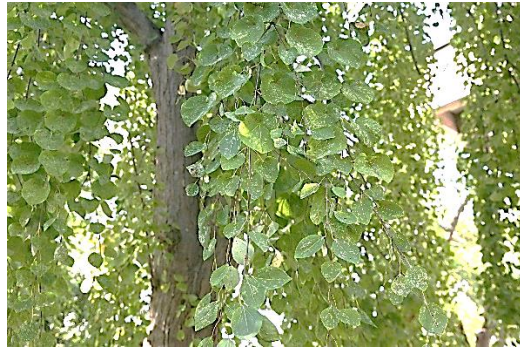


9月

高野長英記念館の草木

朝晩の風 秋の予感？

日中は いまだに酷暑ですが 朝晩の風はほんのわずかではありますが秋の到来を予感させるそよ風が吹きはじめています
記念館周辺の木々からは そよ風にのって葉っぱがはらはらと舞い落ちてきています



シダレカツラ

＊記念館のシンボルツリー的存在。牢名主あらため、庭名主といったところでしょうか。すべての枝が枝垂性で下枝が地面まで達する勢いの美しい樹姿。葉は基部が心形の広卵形～円形で、先端部が葉縁に鋸歯があります。これから黄葉となり、乾くと甘い匂いを放つといわれています。（撮影 8月26日）



ゼフィランサス

＊今季初のお目見え。乾燥と高温の後に雨が降って球根が潤うと花茎を伸ばして開花する性質があるため、レインリリーとも呼ばれています。まさに今年の夏にピッタリの可憐な花です。ゼフィランサスの語源はギリシア語「ゼピュロス」(西風)で、花言葉は「便りがある」です。（撮影 8月25日）